

歯科の感染対策を考える シンポジウム

—より安全・安心な医療を目指して—

幼少期に受けた予防接種の際の、注射器の使い回しにより多くの方がB型肝炎に感染しました。

被害者数は40数万人にのぼり、他に類をみない医療行為による感染事故です。

今回の基調講演では病院と歯科医院の両方で診療の経験を持つ歯科医師が
歯科の感染対策の現状と問題点を報告いたします。

歯科に求められる感染対策は何か？ さらに患者が望むことは？

今後の歯科医療での感染対策を一緒に考えましょう。

【日時】

6月24日[土]

14時～17時(開場13時半)

【場所】

TKP日本橋カンファレンスセンター(ホール7)
東京都中央区八重洲 1-2-16 TGビル

第1部(午後2時～3時)

①基調報告(30分) **B型肝炎感染被害と歯科への思い**

全国B型肝炎訴訟原告団代表 田中 義信氏

②基調講演(30分) **歯科の感染対策について**

歯科医 濱崎 啓吾氏(東京歯科保険医協会理事)

第2部(午後3時10分～4時40分)

パネルディスカッション(90分)

■厚生労働省医政局歯科保健課

山口 聖士氏(歯科医師臨床研修専門官)

■集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する検討会 構成員

梁井 朱美氏(全国B型肝炎訴訟原告団)

■歯科医

濱崎 啓吾氏

参加無料

お申込みは
不要です。

(定員約300名)



問い合わせ

全国B型肝炎訴訟弁護団 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-4 四谷駅前ビル
TEL.03-3355-0611 FAX.03-3357-5742

主催：全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団
共催：東京歯科保険医協会